



道友社文庫

復刊シリーズ

おさしづ研究の権威が晩年、10年以上にわたって『みちのとも』巻頭に連載。『おさしづの手引その一』（昭和42年刊）、『同 その二』（43年刊）に絶筆までの6篇を加え、全一冊として復刊！

おさしづの手引

梶井孝四郎

汲めども尽きぬ、
教祖の温かな親心



梶井孝四郎
ますい・こうしろう

明治27年(1894年)、伊豆七条(奈良県大和郡山市)生まれ。早稲田大学文学部卒業。45年おさづけの理拝戴。大正7年(1918年)本部青年、昭和9年(1934年)本部准員、11年本部員に登用される。常話、道友社長、玄関掛主任、検定会委員長、おはこび掛主任などを歴任。第一回おさしづ編纂・出版に携わり、その後もおさしづ研究に没頭。43年9月4日、75歳で出直す。主な著書に『おさしづ語り草』『みかぐらうた語り艸』など。

【目次から】

おさしづの意味するもの
 ちばがありて世界治まる
 扉開いて世界をろくち
 身上かしもものやかりものや
 ひながたの道より道無いで
 さづけは国の土産、国の宝
 反対する者も可愛我が子
 真の陽気とは
 教祖年祭のよろこび
 二十六日という理
 息一筋が蝶や花である
 ふでさきは話の台である
 ……ほか

定価 1,100円【本体1,000円】

文庫判／468ページ



※お求めは道友社おやさと書店、東京支社、通販(電話、Fax、Webストア)で。

